

## マーケットの動き (2022年11月28日～12月2日)

先週の米国株式市場は前週末比で上昇しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）高官が金融引き締めに関する積極的な発言をしたことが重荷となり、週初は低下基調で推移しました。その後、中国のゼロコロナ政策微調整に対する期待や、FRBパウエル議長が利上げペース鈍化を示唆したことに加え、先週発表の主要経済指標が強弱入り混じる結果であったことから、米国株式は下げ幅を回復して週を終えました。

欧州市場もおおむね米国に連動した推移となりました。

## 投資環境見通し (2022年12月)

## 外国株式相場は一進一退の動き

企業業績については、これまでの高インフレや各国中央銀行の金融引き締めを受けて、業績見通しの下方修正が進みやすく、株式相場の重しになると考えられます。一方で、金利先高観測がやや後退する中、米国株式相場はドル高一服や在庫調整の進展、早期の人員削減などによる来期以降の業績底入れ期待に支えられ、一進一退で推移するとみています。また、欧州株式相場は天然ガス供給の不確実性や財政拡張懸念によるインフレ観測が広がる一方、景気後退懸念を受けた金利先高観測の後退に支えられ、一進一退で推移するとみています。

	12月2日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,071.70	1.13%	8.30%	▲2.52%	▲11.04%
NYダウ	34,429.88	0.24%	7.10%	3.55%	▲0.61%

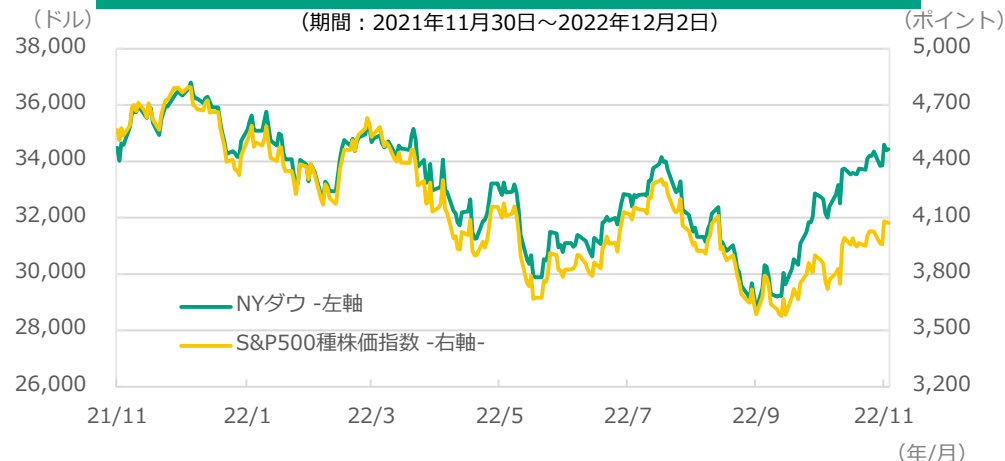
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202212\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202212_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 米国株価指数の推移



## 主要国株価指数の推移



※2021年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成